

第 10 章 特別活動

第 1 目標，評価の内容及びその趣旨等

1 目標

望ましい集団活動を通して，心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り，集団や社会の一員としてよりよい生活を築こうとする自主的，実践的な態度を育てるとともに，人間としての生き方についての自覚を深め，自己を生かす能力を養う。

2 評価の内容及びその趣旨

内 容	趣 旨
学 級 活 動	話合いや係の活動などを進んで行き，学級生活の向上やよりよい生活を目指し，諸問題の解決に努めるとともに，現在及び将来の生き方を幅広く考え，積極的に自己を生かしている。
生徒会活動	委員会の活動などを進んで行き，全校的な視野に立って，学校生活の向上や他のためを考え，自己の役割を果たしている。
学 校 行 事	全校や学年の一員としての自覚をもち，集団や社会における自己の役割を考え，望ましい行動をしている。

3 内容のまとめりごとの評価規準の設定

特別活動においては，学習指導要領の内容の「A 学級活動」の(1),(2),(3)、「B 生徒会活動」，「C 学校行事」の(1),(2),(3),(4),(5)を内容のまとめりとして，「関心・意欲・態度」，「思考・判断」，「技能・表現」，「知識・理解」の四つの評価の観点を設け，それらごとに評価規準を作成した。

第 2 内容のまとめりごとの評価規準

1 「A 学級活動」

【学習指導要領の内容】

学級活動においては，学級を単位として，学級や学校の生活への適応を図るとともに，その充実と向上，生徒が当面する諸課題への対応及び健全な生活態度の育成に資する活動を行うこと。

(1) 学級や学校の生活の充実と向上に関すること。

学級や学校における生活上の諸問題の解決，学級内の組織づくりや仕事の分担処理，学校における多様な集団の生活の向上など

(2) 個人及び社会の一員としての在り方，健康や安全に関すること。

ア 青年期の不安や悩みとその解決，自己及び他者の個性の理解と尊重，社会の一員としての自覚と責任，男女相互の理解と協力，望ましい人間関係の確立，ボランティア活動の意義の理解など

イ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成，性的な発達への適応，学校給食と望ましい食習慣の形成など

(3) 学業生活の充実，将来の生き方と進路の適切な選択に関すること。

学ぶことの意義の理解，自主的な学習態度の形成と学校図書館の利用，選択教科等の適切な選択，進路適性の吟味と進路情報の活用，望ましい職業観・勤労観の形成，主体的な進路の選択と将来設計など

【学級活動(1)「学級や学校の生活の充実と向上に関すること」の評価規準】

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
・学級内の組織づくりや仕事の分担処理など，学級や学校の生活の充実と向上を目指し，他の生徒と協力して意欲的に取り組もうとしている。	・学級や学校の一員としての自己の役割を自覚し，他の生徒の意見を尊重しながら，学級や学校生活上の諸問題などの解決について考え，判断している。	・話合いや係の活動などで自己の考えを的確に表現し，学級や学校の生活上の諸問題を解決する方法や仕事を分担処理する技能などを身に付けている。	・学級内の組織づくりや仕事の分担処理，学校における多様な集団の生活の向上などの方法を知り，学校生活の充実と向上を図る方法を理解している。

【学級活動(2) 「個人及び社会の一員としての在り方，健康や安全に関すること」の評価規準】

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
・人間としての生き方についての自覚と責任をもち，心身の健康の保持増進に努め，学校生活や社会の中で積極的に自己を生かそうとしている。	・自己の課題を見出し，よりよい解決の方法について考え，自他の尊重に基づく健全な生活態度や責任ある生き方について考え，判断している。	・個人及び社会に関わる諸問題を自分自身の問題として受け止め，その解決に向けてよりよい方法で自主的に実践することができる。	・個人及び社会の一員として必要とされる資質や能力，健全な生活を送ることの大切さを知り，実践方法などを理解している。

【学級活動(3) 「学業生活の充実，将来の生き方と進路の適切な選択に関すること」の評価規準】

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
・自己の生き方，学ぶこと，働くことなどに関心をもち，意欲をもって自己のよさを発見し，積極的に伸ばそうとしている。	・自己の将来に希望を抱き，その実現に向けて将来の生活設計を考え，今学ばべきことや自己の生き方について考え，判断している。	・主体的に学び方を身に付け，学習や進路選択に必要な情報を収集，活用し，自己の個性や学習の成果を進路の選択に生かすことができる。	・学ぶこと，働くことの意義，進路選択に必要な情報収集の仕方などを知り，自己の能力，適性などを理解している。

2 「B 生徒会活動」

【学習指導要領の内容】

生徒会活動においては，学校の全生徒をもって組織する生徒会において，学校生活の充実や改善向上を図る活動，生徒の諸活動についての連絡調整に関する活動，学校行事への協力に関する活動，ボランティア活動などを行うこと。

【生徒会活動の評価規準】

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
・学校生活の充実や改善向上をはじめ，生徒会の様々な活動に積極的に参加し，全校的な視野に立って，自己の役割を果たそうとしている。	・生徒会の一員としての自覚をもち，学校生活の改善向上などを目指し，生徒会の諸活動の在り方や参加の仕方について考え，判断している。	・委員会活動や生徒の諸活動，学校行事への協力に関する活動，ボランティア活動等について積極的に発言し，共に協力して実践する技能を身に付けている。	・生徒会活動の意義や自分の果たす役割を把握し，委員会活動などの充実向上のための具体的方策について理解している。

3 「C 学校行事」

【学習指導要領の内容】

学校行事においては，全校又は学年を単位として，学校生活に秩序と変化を与え，集団への所属感を深め，学校生活の充実と発展に資する体験的な活動を行うこと。

(1) 儀式的行事

学校生活に有意義な変化や折り目を付け，厳粛で清新な気分を味わい，新しい生活の展開への動機付けとなるような活動を行うこと。

(2) 学芸的行事

平素の学習活動の成果を総合的に生かし，その向上の意欲を一層高めるような活動を行うこと。

(3) 健康安全・体育的行事

心身の健全な発達や健康の保持増進などについての理解を深め，安全な行動や規律ある集団行動の体得，運動に親しむ態度の育成，責任感や連帯感の涵養，体力の向上などに資するような活動を行うこと。

(4) 旅行・集団宿泊的行事

平素と異なる生活環境にあつて、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、集団生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい体験を積むことができるような活動を行うこと。

(5) 勤労生産・奉仕的行事

勤労の尊さや創造することの喜びを体得し、職業や進路にかかわる啓発的な体験が得られるようにするとともに、ボランティア活動など社会奉仕の精神を養う体験が得られるような活動を行うこと。

【学校行事（１）「儀式的行事」の評価規準】

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
・厳肅な雰囲気を尊重し互いに祝い、励まし、喜びを分かち合い、新しい生活への希望や意欲をもって共に協力し活動しようとしている。	・新しい生活の充実、発展のために使命感や責任感をもち、集団や社会の一員としての在り方について考え、判断している。	・集団や社会の一員としての連帯感を深め、厳肅で清新な気分を味わうとともに、新しい生活へ向けての目標を立てることができる。	・行事の意義やねらいを理解し、厳肅で清新な雰囲気を保つことの大切や、その場にふさわしい態度と行動の在り方がわかる。

【学校行事（２）「学芸的行事」の評価規準】

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
・平素の学習の成果を総合的に生かし、自己の成長を振り返り、自己を伸ばそうとする意欲をもって活動しようとしている。	・学校生活を楽しく豊かなものにするために、よりよいものを創り出す方法や美しいものや優れたものを鑑賞する方法などについて深く考えている。	・平素の学習の成果を工夫して表現し、互いに努力を認め合いながら、協力してよりよいものを創りあげたり、鑑賞したりすることができる。	・行事のねらいや進行の計画、各自の役割について理解し、自分の目標を達成するための活動方法や発表の仕方などがわかる。

【学校行事（３）「健康安全・体育的行事」の評価規準】

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
・心身の発達や健康、安全な行動の大切さについて深く関心をもつとともに、運動に親しみ、健康で安全な生活の実現に努めようとしている。	・自他の生命を尊重し、心身の健康や安全を保持するために必要な生活の仕方、体力の向上などについて考え、判断している。	・心身の発達や健康の保持増進に積極的に努め、自他の安全の確保や規律ある集団行動を行う技能などを身に付けている。	・心身の健康の保持増進に必要な生活の仕方についての知識を深め、進んで運動する意義や運動に親しむ方法を理解している。

【学校行事（４）「旅行・集団宿泊的行事」の評価規準】

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
・平素と異なる生活環境の中で、自然や文化などに関心をもち、人間的なふれ合いや信頼関係を深め、互いに協力して集団生活を送ろうとしている。	・豊かな自然や文化に触れながら、学習活動を充実させる方法を考え、集団生活の在り方や人間としての生き方について考え、判断している。	・望ましい集団行動を通して、集団生活のきまりや社会生活上のルール、公衆道徳などを身に付けるとともに、幅広い人間関係を築くことができる。	・豊かな自然や文化に触れ、見聞を広げるとともに、集団生活に必要なルールや公衆道徳を知り、望ましい集団活動の在り方を理解している。

【学校行事（５）「勤労生産・奉仕的行事」の評価規準】

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・将来の社会人としての生き方や社会奉仕に関心をもち，創造する喜びや共に生きる喜びを味わいながら，勤労生産活動やボランティア活動に進んで取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・勤労生産やボランティア精神を養う体験的な活動を経験しながら，勤労の価値や社会奉仕の精神，人間としての生き方について深く考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職業や進路の選択に役立つ勤労観や職業観，ボランティア活動に必要な社会奉仕の態度などを身に付け，学校や地域社会の活動に生かすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校内外での勤労生産やボランティア活動などを通して，勤労の尊さや意義，社会奉仕の精神などを認識し，具体的な活動の仕方を理解している。